

公表用

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	聴覚障害者のコミュニケーションを支援する会話可視化サービスの提供
助成対象事業者名	ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
助成金の額	15,000千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	音声認識と独自開発マイク・専用アプリケーションを利用し、既存のソリューションではできなかった「誰が」「何を」話したのかをリアルタイムに可視化するサービスの提供を行い、聴覚障害や難聴者と健聴者とのコミュニケーションを支援する。 ■具体的な機能 ・「誰が」「何を」話したか直感的に読み取れる360°ビュー表示機能 ・会話の内容を見返しやすいタイムラインビュー表示機能 ・チャット入力、読み上げ機能 ・会話メモの保存、Word・CSVダウンロード機能 ・AIを活用したリアルタイム要約機能(5分ごとに会話内容を要約可能)
②	助成対象事業の目標	本製品(VUEVO ビューボ)を用いることで「誰が」「何を」話しているのかリアルタイムに直感的に表示することができます。それにより、聴覚障害者や難聴者が会議等、複数人の会話であっても視覚的に内容を把握することができるようになることを目指しています。

【令和7年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	令和8年以降の自立化に向け、利用企業拡大のための取り組みと、安定的なサービス運営への取り組み、またユーザーからのフィードバックを元にしたサービス改善を実施しました。 ■利用企業拡大のための取り組み 展示会やイベントへの出展を中心に利用企業拡大に向けた取り組みを進めました。
---	-------------	---

		[展示会や聴覚障害に関係する会合への主な出展実績] ・福祉機器展への出展 ・第29回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 函館・北海道への出展 ・東京都主催「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」へのサービス提供 ■利用者からのフィードバック 利用企業へのインタビューやモニター評価、またトライアル企業へのアンケート等、定性的、また定量的なフィードバックを集めました。また、そこで得たフィードバックを元に、機能の改善や新規機能開発を実施しました。 ■サービス開発 開発計画やユーザーからのフィードバックに基づき、新機能開発や既存機能の改善を実施しました。コア機能であるアルゴリズム改善・精度改善については、継続的にアップデートを行っており、さらなる精度改善のための開発を継続予定です。
④	助成対象事業の成果	■売上計画に対しての成果 2025年度は売上高34百万円を計画していました。実績としては、2025年度の売上高は36百万円(2026年4月末時点)となり、達成率105%と、当初計画を超えた順調な結果となっています。 ■サービス開発の成果 主な開発成果としては以下の通りです。 ・会話メモの管理機能 ・要約パターンの追加 ・辞書の一括登録機能 ・内部的な機能のアップデート・メンテナンスの実施 ・ネットワーク接続機能・設定等の改善 ・文字起こし精度向上のためのアルゴリズム改善(継続中)
⑤	補足説明事項	